

8月9日

全国学校図書館研究大会に参加



第44回全国学校図書館研究大会(高松大会)「新時代の学びを支える学校図書館」に参加。探求学習を深めるためにも、GIGAスクールやAI

の時代になろうとも、学校図書館と司書教諭、学校司書の役割は益々重要になって来ることを改めて認識できました。

9月8日

香川県腎臓病協議会50周年記念



一般社団法人香川県腎臓病協議会の創立50周年記念大会に出席。理事として、ご自身の苦しい治療に耐えるだけではなく、同じく苦しむ仲間

とご家族が、安心して治療を続けられる環境を作る為に重ねてきた歩みに、心から敬意を表し、公共交通が大きく帰路に差し掛かっている中で、治療の為に通院の移動手段を確保するなど、暮らしを支えていくことをお伝えしました。

会計報告(政務活動費)

令和6年度(4月~12月)

Table with 3 columns: 経費の区分, 金額, and numerical values for various expenses totaling 550,250 Yen.

\*高松市議会のホームページで全ての領収書を公開しています。

主な活動実績 2024年7月~12月

- 7月10日 公明党議員会派視察・小野市
11日 公明党議員会派視察・姫路市・西宮市
12日 公明党議員会派視察・尾道市
27日 高松市まちづくり学校 参加
8月8日 芸術士派遣事業の要望で国会へ
9日 全国学校図書館研究大会(高松) 参加
10日 瀬戸内おもちゃ学会設立記念イベント参加
15日 第57回さめき高松まつり 市議連参加
19日 「子どもの移動自由性」勉強会参加
25日 KHJ香川県オリーブの会定例会に参加
9月4~24 第4回 高松市議会定例議会
8日 香川県腎臓病協議会50周年記念大会参加
13日 43回目となる一般質問に登壇
14日 たかまつ讃岐テラス財団設立1周年 出席
28日 おとな食堂プロジェクト中間報告会 参加
11月1日 全国清掃事業連合会香川地区研修会 参加
10日 弦打地区地域ふれあい交流事業 出席
15日 香川県更生保護事業関係者顕彰式 出席
16日 ひかりエコ・エンジニアリング会交流会 出席
17日 弦打地区防災訓練 出席
24日 高松市消防団連合演習 出場
12月2~18 第5回高松市議会臨時議会
9日 44回目となる一般質問に登壇
10日 香川県行政書士交流会 出席
21日 子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ臨時総会出席
22日 オリーブ卒業生親の会二十歳を祝う会 出席

市民相談件数

2024年7月~12月 59件【累計 2,388件】

ご相談やお気づきの点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

高松市議会議員 春田 敬司 と明日を考える。

vol.23 2025.1

春風通信 Haru kaze Communication



柔軟な心と知恵を持って、新たな挑戦に立ち向かいましょう!

2025年は、変化と再生の年です。高松市は、豊かな歴史と文化・芸術を誇るまちとして、これまで多くの人々に愛されてきました。この素晴らしいまちを、さらに発展させるため、市民一人ひとりの力を結集し、共に未来を創るまちづくりを進めて参りましょう。

大型イベントの年を大成功に!

サンポート高松の新たなにぎわいの拠点となる、あなぶきアリーナ香川が、いよいよ2月に開館します。4月には徳島文理大学の高松駅キャンパスも開学するなど、サンポートエリアが大きく生まれ変わります。さらに第6回目となる瀬戸内国際芸術祭や全国高校総合文化祭、大阪・関西万博など大型イベントが重なりあい、世界中から多くの人が集まって



(写真:香川県)

きます。各機関はもとより、市民が一致団結してこの好機をとらえられるよう、高松市が扇の要の役割を果たして参ります。

144項目の未来を開く予算を要望!

12月3日大西市長に対し公明党会派として、令和7年度予算要望を行いました。議会質問や日頃の市民相談を通じて寄せられた声を基に意見をとりまとめ、144項目にわたり予算化を求めました。



暮らしに一番身近な政治家として、上部だけのパフォーマンスでは無く、また高齢者や若者の為といった社会を分断するような目先の提案ではなく、誰一人取り残さない持続可能な取組みとなるよう意を用いました。新年度に向け「全世代型の福祉」の実現を求めて参ります。

物価高から暮らしを守る、高松市の主な緊急経済対策(約22.5億円)

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」などを活用し、1月の臨時議会で決定!

中小企業事業者などへの支援!

- 中小企業等賃金引上げ奨励金
令和7年1月1日から12月31日までに賃上げを実施する中小企業に対し給付

Table with 3 columns: 雇用形態, 賃上げ率, 1人当たり. Rows for regular and non-regular employees.

- 医療や福祉施設・地域農業・地域公共交通事業者を支援 (3月までに支給を開始予定)

暮らしを支える取組!

- 住民税非課税世帯へ給付 (2月中旬~周知)
・1世帯当たり3万円
・子育て世帯加算 児童1人当たり2万円
ひとり親世帯生活支援給付 (3月末支給予定)
児童扶養手当を支給している世帯へ
・児童一人当たり2万円

\*対象者へ逐次直接通知やホームページ、団体などを通じて広報します!

春風通信 Vol.23



高松市議会議員

春田 敬司

はるた けいし



オフィシャルサイト

https://www.haruta.jp

E-mail: info@haruta.jp



公式Line登録はこちら▶



春風通信 はるかぜつうしん Vol.23

発行者:高松市議会議員 春田敬司 発行日:2025年1月
連絡先:高松市香西東町14番地8 電話:087-881-6411

\*詳しい内容はインターネット(議会中継)でご覧になれます。



高松市の来年度の予算編成に向け、物価高騰から暮らしを守るための賃上げと、その賃上げを支えるデジタル化について、そして未来の高松市を担う人材育成について質問をしました。

## 2024年9月12日(木) 一般質問の項目

### 1.賃金と物価の好循環の推進について

- (1)本市の委託料や補助金における賃上げを推進する考え
- (2)指定管理者制度における「賃金スライド」を導入する考え
- (3)中小企業の賃上げを推進するための具体的な取り組み

### 2.デジタル化・DXの推進について

- (1)庁内のAI活用を加速化する考え
- (2)中小企業のDX支援を強化する考え
- (3)公共施設予約におけるキャッシュレス化・DXを進める考え

### 3.放課後FACT-oryの取り組み推進について

- (1)地域学習プラットフォーム構築に向けた市長の決意
- (2)教育長の所感
- (3)事業の成果指標と期待される効果

### 3.子どもたちに学びの選択肢を広げる

高松市の「放課後FACT-ory」は、子どもたちに地域の企業や文化に触れる機会を提供し、学びの選択肢を広げることを目指す取り組みです。地域企業との連携によるワークショップなど、すでに成果を上げていますが、より多くの学習機会や体験を可視化し、子どもたちが自由に選択できる環境を整える必要があります。デジタル技術を活用し、地域学習のプラットフォームを構築する構想がありますが、課題も多く残されています。この事業は、高松市の未来を担う子どもたちの学びを深めるための重要な取り組みであり、市長と教育委員会が一体となって、市民と共に成功に導く必要があります。

#### A.市長の答弁

改めてこのプラットフォームの教育分野における新しい学びの取り組みとしての重要性を認識した。この事業で掲げる目的の達成のため、教育委員会と緊密な連携を図りながら、子どもたちが興味を持つような幅広いコンテンツの更なる充実を図るなど、積極的に推進したい。

#### A.教育長の答弁

本市の将来を担う子どもたちが発達段階や個々の興味・関心に応じて様々な体験ができるように、教育面からの提案を行うとともに、総合的な学習の時間など、学校現場における活用についても検討したい。

#### A.総務局長の答弁

現在の成果指標は、地域学習プラットフォーム利用者数や、地域コンテンツプログラム数を設定している。この事業の広がりにより若年層の地域への理解が深まることで、シビックプライドの醸成や関係人口の創出などにつながるほか、地域企業の人材確保への波及効果も期待される。事業を着実に推進したい。



寄せられた声を基に調査を重ね、具体的な提案を4項目に亘り行いました。

### 1.刈草の資源化を推進する考えについて

高松市はゼロカーボンシティを目指し、廃棄物の削減に取り組んでいます。しかし、道路の除草などで発生する大量の刈草は、現在焼却処分されています。他の自治体では、刈草を堆肥化したり、下水汚泥と混合してバイオガスを生成するなど、有効活用が進んでいます。高松市でも、同様の取り組みが検討されましたが、コストや技術的な課題から実現していません。しかし、他の自治体の事例や研究成果を参考にすれば、刈草の有効活用は十分可能と考えられます。そこで、ゼロカーボンシティ推進課を中心に、関係各課が連携し、刈草の有効活用に向けたプロジェクトチームを立ち上げることを提案します。

#### A.環境局長の答弁

刈草の資源化は焼却に伴う温室効果ガスの排出抑制に加え、ゼロエミッションにもつながり持続可能な地域環境を目指す上で有効と考える。一方でコスト面など課題があるため、まずはゼロカーボンシティ推進課が中心となり、庁内関係課で共有するなど調査研究して参りたい。

## 2024年12月9日(月) 一般質問の項目

- 1.刈草の資源化を推進する考えについて
- 2.附属機関等の会議記録作成業務にAIを積極的に活用することにより、速やかに会議記録を公開する考え
- 3.劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業を活用する考えについて
- 4.公園の管理について
  - (1)持続可能な管理手法の検討
  - (2)飛び出し防止の門扉設置の取組

### 3.劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業を活用する考えについて

一流の舞台公演に触れる機会をつくることは、一人ひとりの生きる力を育むとともに、中長期にわたって文化芸術を振興させていく観点からとても重要です。子どもたちが気軽に文化芸術に触れられるよう、国が実施している「文化芸術振興費補助金」を活用した取り組みを、高松市の文化芸術ホールでも行うべきだと考えています。この補助金は、子どもたちのチケット代を無料にするだけでなく、同伴者の割引も受けられます。子どもたちに、一流の舞台芸術に触れる機会をさらに広げたい。

#### A.創造都市推進局長の答弁

国のこの事業は、将来の地域文化の担い手となる子どもの鑑賞機会の拡大につながる事業であるため、高松市文化芸術財団と協議しながら活用を検討して参りたい。



## 12月議会で議決! 選挙時の公約(マニフェスト⑤)多様な市民活動を支えます!が実現!

### 「市民活動センターが来年4月から、民営化されます」

様々な価値観が溢れ、社会が多様化・複雑化しています。このような中で地域の課題解決に取り組むために様々な市民活動が広がりを見せる一方で、これらの市民活動団体への活動の場の提供や、情報提供、サポート体制などの機能が十分に果たせていませんでした。平成21年から繰り返し、市民活動センターの機能充実を訴え、直営の「市民活動センター」の民営化を目指してきました。



マニフェスト⑤動画